
PlayStation
LOVE GAME'S
わいわいテニス
+プラス+
Tears
HAMSTER

この度は、「LOVE GAME'S わいわいテニス プラス」をお買い上げ頂き、誠に有り難うございます。
ゲームを始める前に、この解説書を必ずお読みください。商品の内容には万全の注意を払っておりますが、万一誤作動等を起こすような場合がございましたらおそれいりますが弊社までご一報ください。
なお、ゲーム内容や裏技についてのご質問にはお答えできませんので予めご了承ください。

お問い合わせ先：株式会社ハムスター　〒154-0012　東京都世田谷区駒沢2-11-5
FAX : 03-5432-6446　E-mail : support@hamster.co.jp　URL : http://www.hamster.co.jp/
サポート情報・新作情報はホームページでもご覧いただけます。

簡単操作で本格テニスを楽しもう！



もくじ

ご注意　"PlayStation 2"本体でメモリーカード(SCPH-1020/別売り)を使用するとき

メモリーカード(SCPH-1020/別売り)を使用するときは、必ず"PlayStation 2"本体の⏻(オン/スタンバイ)/RESETボタンが緑色の状態(オンの状態)で差し、⏻(オン/スタンバイ)/RESETランプを赤色の状態(スタンバイ状態)にする前に抜いてください。別売りの"PlayStation 2"専用マルチタップ(SCPH-10090)やマルチタップ(SCPH-1070)を接続してメモリーカードを使用するときも、同様の操作を行なってください。

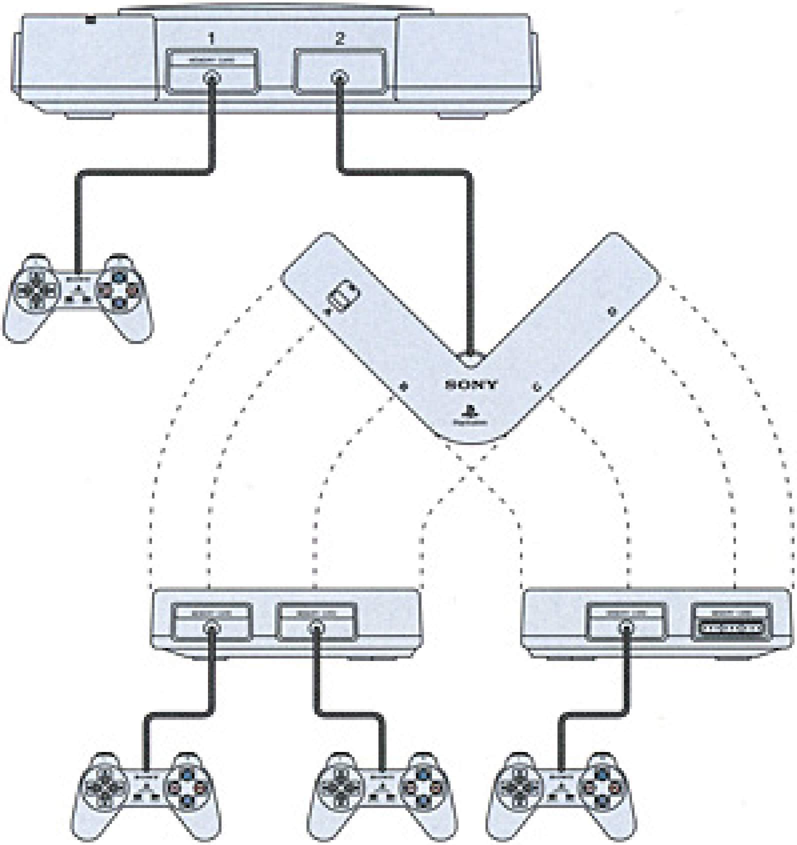
For Japan Only | プレイヤー 1~2 人 | アナログコントローラ対応（振動のみ） | マルチタップ対応 1~4 人

SLPM 86899

マルチタップの接続例

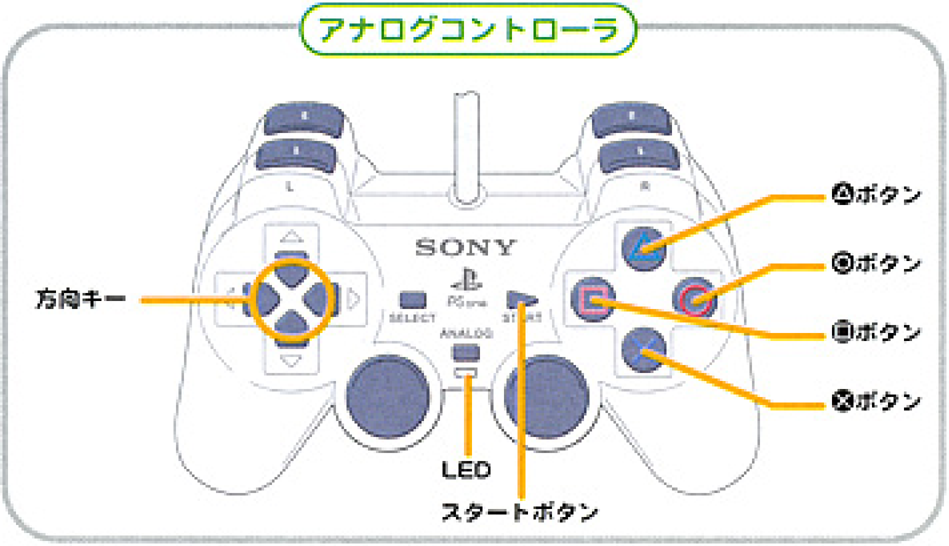
マルチタップを使う際の注意

マルチタップを使用する場合は、コントローラ端子1にコントローラ等を接続したあと、マルチタップを必ずコントローラ端子2に接続してください。
マルチタップをコントローラ端子1に接続してプレイすると、正常に作動しない事があります。
マルチタップにコントローラ等を接続する場合、必ずマルチタップ側のコントローラ端子2-Aにコントローラ等を接続してから、残りのコントローラ等を2-B、2-Cの各端子に接続してください。



コントローラの使い方

アナログコントローラ



	試合中	メニュー
方向キー	選手の移動/ボールのコースコントロール	項目の選択
○ボタン	トスアップ/強サービス/強ショット/強ボレー/スマッシュ	選択の決定
×ボタン	トスアップ/弱サービス/弱ショット/弱ボレー/スマッシュ	選択のキャンセル
□ボタン	便利サービス/スーパーショット	ー
△ボタン	ロビング系ショット＆ボレー	ー
スタートボタン	ポーズ	ゲームのスタート

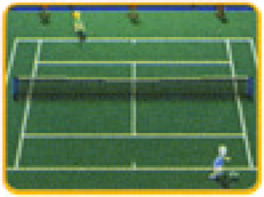
アナログコントローラを使用した場合、振動を楽しむことが出来ます。
振動機能のON／OFFは、LEDの点灯／消灯に関わらず、オプション（P.16）で設定出来ます。
振動機能以外の基本操作方法はコントローラを使用する場合も同じです。

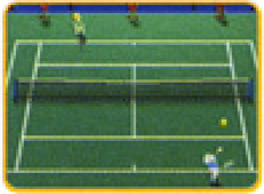
強ショット＆強ボレー・弱ショット＆弱ボレー・スーパーショットの球種は、
選手の特性毎に予め決定されています。

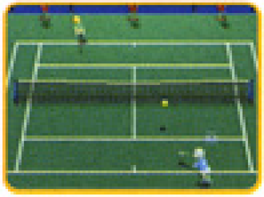
サービス

サービスでの操作

サービスは、以下の操作で打つ事が出来ます。







①ポジションを決める

方向キー左、右で、サービスを行う場所まで選手を移動させます。
方向キー下で、その場でドリブルします。

②トスアップをする

○・×ボタンのどちらを押しても、トスアップを行います。

③コースを決める

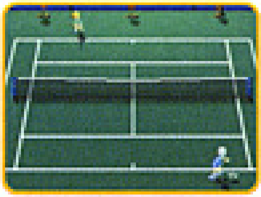
トスアップ中に方向キーで、コースをコントロールする事が出来ます。
方向キーを押している時間で、ボールの方向は少しづつ変わります。

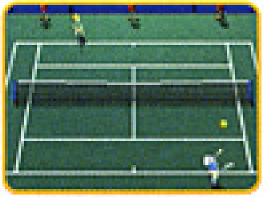
④球種を決める/ボールを打つ

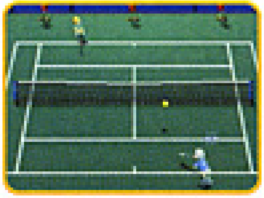
トスアップ後、○・×ボタンを押すとサービスを打ち込みます。
(△・□ボタンは使用しません)
それぞれのボタンで球種が違います。
(球種は、選手毎個別に設定されています)
打つ時のボールが高ければ遠くへ、低ければ手前に飛んでいきます。
トスアップ後、ボタンの入力を行わないとボールをキャッチします。

便利サービスシステム

□ボタンを押すだけで自動的にトスアップからサービスまでを行う事が出来ます。便利サービスでは、弱サービスしか行う事が出来ません。簡単にサービスを行う事が出来ますが、ボールの威力は弱サービスの80%になってしまいます。試合に勝ち進むためには有効ではありませんが、サービスが難しいという初心者向きです。※トスアップを○・×ボタンで行った場合は、その後で□ボタンを入力しても便利サービスにはなりません。







◎便利サービスでの操作
便利サービスは、以下の操作で打つ事が出来ます。

①ポジションを決める

方向キーの左、右で、サービスを行う場所まで選手を移動させます。
方向キーの下で、その場でドリブルします。

②トスアップをする／球種を決める

□ボタンを押すと、トスアップを行います。

③コースを決める

トスアップ中に方向キーで、コースをコントロールする事が出来ます。
方向キーを押している時間で、ボールの方向は少しづつ変わります。

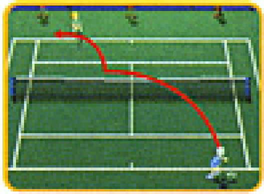
④ボールを打つ

トスアップ後、決定された球種で自動的にサービスを打ち込みます。
サービスの打点の高さは、ショット毎に常に一定です。

サービスの種類

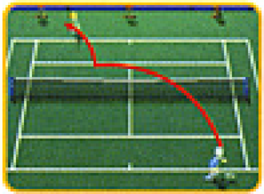
サービスには、4種類の球種が設定されています。
トスアップの後、入力するボタンにより強サービスと弱サービスを打ち分ける事が出来ます。強サービスと弱サービスの球種は、選手毎に個別に設定されています。

フラットサービス



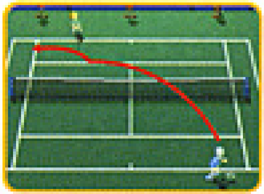
ボールをフラットに捕らえて、回転を与えないサービスです。スピードが有り、直線的に飛ぶので、打点を高く取ってネットの低い位置を狙って打ちます。

スピンサービス



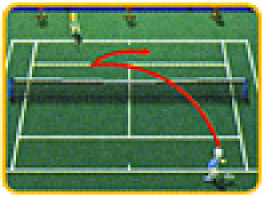
ボールを下から擦り上げて、縦の回転を与えるサービスです。回転によってボールが落下しやすくなり大きくバウンドします。

スライスサービス



ボールのフォア側を擦り上げて、サイドスピンを与えるサービスです。落下後、ボールは大きくバウンドせず回転方向に切れていきます。

ツイストサービス



縦に近い回転をボールに与え、落下後大きく弾ませるサービスです。
※サービス直後の軌道は、スピンと同じで、バウンド後の軌道はスライスと同じですが切れて行く方向が、スライスサービスとは反対になります。

ショット

ショットの種類

ショットは入力するボタンにより、強ショット・弱ショット・スーパーショット・ロビングの4種類のショットを打ち分ける事が出来ます。強ショットと弱ショットは、[フラット][スライス][トップスピン]の3種類の中の何れかが、選手毎に個別に設定されています。

スーパーショットは、[ドライブ][ドロップ]の2種類の中の何れかが、選手毎に個別に設定されています。更に、ストローク／ボレー（Hi・Mid）／オーバーヘッド／リミット／ストレートの5種類のポジションにより同一系統の違う球種のショットを打ち分ける事が出来ます。

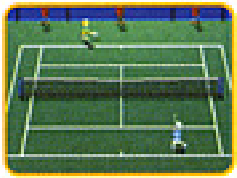
各ポジションは、コート上の選手の位置やボールとの距離で自動的に判定されます。

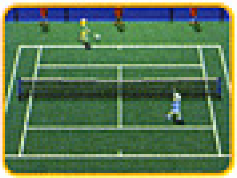
ショットとサービスの威力

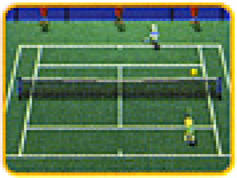
ショットには、それぞれ球種別にショットパラメータが設定されています。ショットパラメータ数値に対応して、MAXの球速や変化の度合いが決定されます。

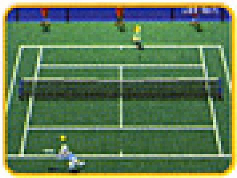
ポジションについて

返球に対する位置、ボールとの距離やボールの高低で自動的に選手のポジション判定が行われます。









ストロークポジション
ネットポジション以外にいる場合を「ストロークポジション」といいます。

ボレーポジション（Hi・Mid）
ネットに近い位置にいる場合を「ボレーポジション」といい、
ボールの位置が高い状態を（Hi）、低い状態を（Mid）と区別します。

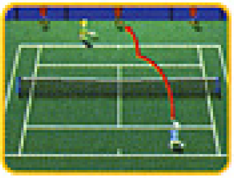
オーバーヘッドポジション
高く返球されたボールの軌道真下にいる場合を「オーバーヘッドポジション」といいます。

リミットポジション
ボールとの距離が一定以上離れている場合を「リミットポジション」といいます。

ストレートポジション
返球の軌道に対して、正面に入った場合を「ストレートポジション」といいます。

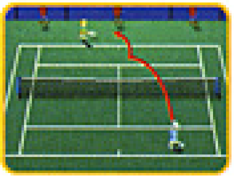
ストロークポジション

ネットから一定以上離れると、「ストロークポジション」になります。利き腕側で打つ事をフォアハンド、反対側で打つ事をバックハンドといいます。このポジションでは以下のショットしか打つ事が出来ません。



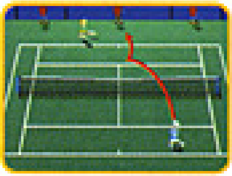
[フラットショット]

ラケット面をボールに直角にあてる打法で、ボールは回転しないので落下スピードも普通で、真っ直ぐに飛んで自然に落下します。



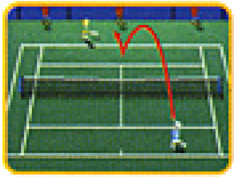
[スライスショット]

逆回転を掛ける打法で、球速が遅くなり落下後はバウンドが低くなり、ボールが滑って伸びる球質があります。



[トップスピンショット]

順回転を強く掛ける打法で、落下スピードが速く、高く弾む打球です。



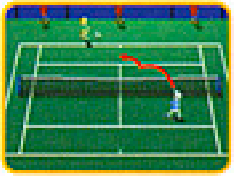
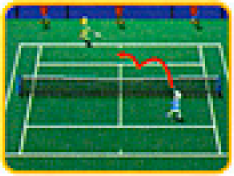
[ロブ（ロビング）]

空中高く相手のベースラインを狙ってボールを打ち上げる打法で、落下後もバウンドが非常に高くなります。球質はフラットです。

ワンバウンド／ノーバウンド共に、Ⓐボタンで打つ事が出来ます。

ボレーポジション

ネットに一定の距離以上近づくと、「ボレーポジション」になります。このポジションでは以下のショットしか打つ事が出来ません。
ボールの高低によりHiとMidを自動的に打ち分けます。

[ボレー]

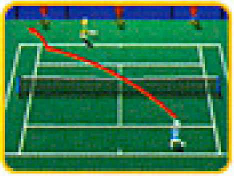
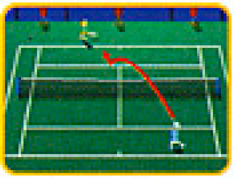
ネット際で空中にあるボールを、ダイレクトにヒットする打法です。
ボールの高さが（Hi）の場合はハイボレー、（Mid）の場合はミドルボレーになります。

[ロブボレー]

高く山なりに打ったボレーで、落下スピードは遅く、ゆっくり弾む球質です。

ストロークポジションでのスーパーショット

通常のショットとは違い、ボールに強い回転や球威を与えるショットです。
全身の力を込めるショットなので、タイミングが微妙なため、使いこなすには練習が必要です。

[ドライブショット]

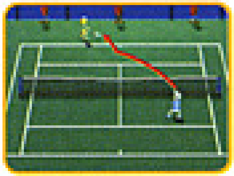
強い順回転を掛ける打法で、低い弾道でコート深くに飛ぶボールです。
落下スピードが速く、非常に高く弾む球質です。
ストロークポジションで◉ボタンを押すと、打つ事が出来ます。

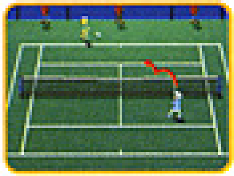
[ドロップショット]

強い逆回転を掛ける打法で、ネット際に落ちてボールが止まります。
ストロークポジションで◉ボタンを押すと、打つ事が出来ます。

ボレーポジションでのスーパーショット

通常のボレーとは違い、ボールに強い回転や球威を与えるショットです。全身の力を込めるショットなので、タイミングが微妙なため、使いこなすには練習が必要です。





[ドライブボレー]
強いトップスピンを掛けて打つボレーで、低い弾道でコート深くに飛ぶボールです。
落下スピードが速く、非常に高く弾む球質です。
ボレーポジションで◉ボタンを押すと、打つ事が出来ます。

[ドロップボレー]
強い順回転を掛けて打つボレーで、ネット際に落ちるショットです。
ボレーポジションで◉ボタンを押すと、打つ事が出来ます。

オーバーヘッドポジション

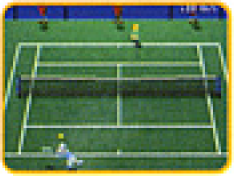
返球が頭上よりも高い時、ボールの軌道下に入ると「オーバーヘッドポジション」になります。基本的には相手の打ち上げたロブを落下点で待ち、相手コートに直接打ち込むショットです。
　このポジションでは以下のショットしか打つ事が出来ません。

[オーバーヘッドスマッシュ]
高いボールが返球された時、頭上で打つスマッシュとなり、強力なボールを打つ事が出来ます。ボールの軌道下に入っていた場合は、どのボタンを押しても打つ事が出来ます。
※ボール軌道の真下では無いオーバーヘッドスマッシュは、アングルショット（斜め45度上）になります。

[ジャンピングスマッシュ]
高いボールが返球された時に、ジャンプして頭上で打つスマッシュです。通常のスマッシュよりも強力な打球を打ち込む事が出来ますが、タイミングが難しいショットです。
※ジャンピングスマッシュでは、アングルショットにはなりません。

リミットポジション

選手とボールとの距離が一定以上離れている場合は、「リミットポジション」になります。ラケットを伸ばしてボールに、ギリギリ届くだけの距離というポジションですから、相手コートに真っ直ぐ打ち返すだけのショットになります。タイミングによってはラケットに当たらない場合もあります。このポジションでは以下のショットしか打つ事が出来ません。



[リミットショット]

返球に対する距離が、一定以上離れているとリミットショットとなり、相手コートに、フラットな球を打ち返す事しか出来なくなります。ボールとの距離が一定以上の時には、どのボタンを押してもこのショットしか打てません。

ストレートポジション

相手の返球に対して、ボール軌道の正面に入った場合は、「ストレートポジション」になります。

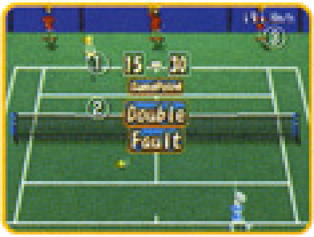
「ストロークポジション」と「ボレーポジション」で使用するショットが異なります。「ストロークポジション」では、リミットショットと同様に真っ直ぐ打ち返すだけのショットになります。

「ボレーポジション」では、正面の足元に叩きつけるボレーになります。タイミングによっては、ラケットに当たらない場合もあります。その場合は、ボディショットになります。

このポジションでは、どのボタンを押してもフォアハンドの正面打ちになります。

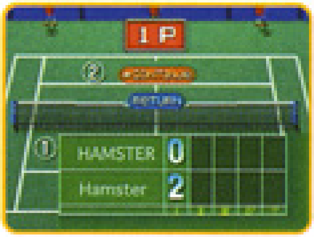
画面の見方

試合中の画面



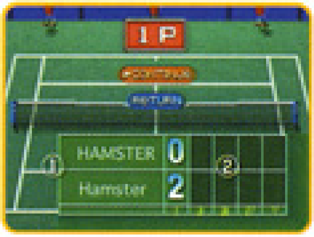
①ポイント
　(左からサーバー、レシーバーの順)
②審判のコール
③サービスの速度

ポーズ中の画面



①スコアパネル
②コンティニュー

スコアボード



①選手名
②セットポイント

試合結果画面



①ゲームモード
②セットカウント
③トータルポイント
④サービスエースカウント
⑤ネットポイントカウント
⑥スーパーショットカウント
⑦1stサービス決定率
⑧ダブルフォルトカウント

ゲームモード

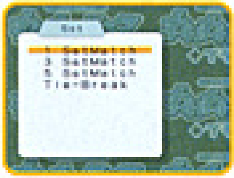
わいわいテニス プラスには【ＶＳ】【クイックプレイ】【トーナメント】の3つのゲームモードと【オプション】設定モードがあります。

●ＶＳモード●

コンピュータと、または友達と、手軽に対戦プレイが楽しめるモードです。
あらかじめ登録されている男女合わせた16名の選手を使用して遊ぶ事が出来ます。
マルチタップを使用すれば4人同時プレイのダブルス対戦も楽しめます。



◎ゲームの始め方
①対戦形式を選びます。
方向キー左、右でシングルスとダブルスの項目を選択するとそれぞれの対戦形式が表示されます。
方向キー上、下で選び、◉ボタンで決定します。
※CPvsCPとCP&CPvsCP&CPは、観戦モードです。



②セット数を選びます。
方向キー上、下で選び、◉ボタンで決定します。
※試合は、前に過半数のゲームを取った方が勝ちます。
※TIE-BREAKは、タイブレークの得点方式です。



③試合会場を選びます。
合計8種類の中から好きなコートを選びます。
方向キー左、右で、色々な条件で検索する事が出来ます。
方向キー上、下で選び、◉ボタンで決定します。
※各試合会場のサーフェスは、あらかじめコート毎に設定されています。





④ルールの設定をします。
NO-ADVANTAGEを選ぶと、デュースの時にアドバンテージカウントを行わず1点先取で勝ちになります。

⑤最後にプレイヤーを選びます。選択は1Pから順に行います。
あらかじめ登録されている16名の選手の中から方向キーの上、下で選びます。方向キーの左、右で、色々な条件で検索する事が出来ます。
△ボタンを押すと選手のステータスが確認出来ます。
◎ボタンで決定します。
※4人同時プレイを行うには、マルチタップが必要です。

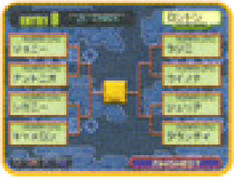
●クイックプレイ●

試合形式だけを選択すると、その他全ての項目が自動的に決定され簡単に試合を始める事が出来る簡単なゲームモードです。

●トーナメントモード●

2種類のテニストーナメントを戦い抜くモードです。
マルチタップを使用しないで、最大8人のプレイヤー同士での対戦が楽しめます。





◎ゲームの進め方
①トーナメントを選びます。
トーナメントには、4人エントリーと8人エントリーの2種類があります。

②エントリーする選手を決定します。
まず人間かCPかの選択を行い、次に選手を選択します。
選択した選手は、選手名を変更する事が出来ます。
※ネームエントリーでは、アルファベットしか選択できません。

●オプション●

◎オプション設定項目

<サウンド>
ゲームサウンドのステレオ／モノラル設定です。
<バイブレーション>
アナログコントローラの振動機能のON／OFF設定です。
<EXIT>
メインメニューに戻ります。

★ 得点の数え方

サービス側の点数が先（左側）に表示されます。
得点は0から始まり、1ポイント毎に15・30・40と増えていきます。
4ポイント先取で1ゲームアップ、6ゲームを先取した方が1セット取得となります。
但し、ポイントが40-40になるとデュースとなり2ポイント連取しなければゲームを取る事が出来ません。
ゲームカウントがタイブレークとなった場合も、先に2ゲーム連取しなければ、そのセットに勝利する事は出来ません。

使用上のご注意 ●このディスクは"PlayStation"規格のソフトウェアです。NTSC J あるいは FOR SALE AND USE IN JAPAN ONLY の表記のある日本国内仕様の"PlayStation"、"PlayStation"（PS one）および"PlayStation 2"にのみ対応しています。海外仕様のハードウェアでは使用できません。他の機種でお使いになると、機器などの故障の原因や耳や目などの身体に悪い影響を与える場合がありますので絶対におやめください。●ソフトウェアの「解説書」および、お使いになる機種の「取扱説明書」「安全のために」をよくお読みの上、正しい方法でご使用ください。●このディスクを"PlayStation"、"PS one"および"PlayStation 2"本体にセットする場合は、必ずレーベル面（タイトルなどが印刷されている面）が見えるようにのせてください。また、"PlayStation"および"PS one"本体にセットする場合は、中央部分を軽く押し込み、ディスクを安定させてください。●プレイ終了後"PlayStation"および"PS one"本体からディスクを取り出す場合は、本体のオープン（⏏）ボタンを押し、ディスクの回転が完全に止まったのを確認してから行ってください。回転中のディスクに触れると、けがをしたりディスクを傷つけたり本体の故障の原因になりますので、絶対におやめください。●直射日光があたるところや暖房器具の近くなど、高温のところに保管しないでください。湿気の多いところも避けてください。●ディスクは両面とも手を触れないように持ってください。●紙やテープをディスクに貼らないでください。●ディスクにペンなどで書きこみをしないでください。●指紋やほこりによるディスクの汚れは映像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。●ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心部から外周部に向かって放射状に軽くふいてください。●ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使わないでください。●ひび割れや変形したディスク、あるいは接着剤などで補修されたディスクは誤作動や本体の故障の原因となりますので絶対に使用しないでください。●プレイ終了後はディスクをケースに戻し、幼児の手の届かない場所に保管してください。ケースに入れずに重ねたりななめに立てかけたりすると、そりや傷の原因になります。●このディスクの中心孔に、指など身体の一部を故意に挿入しないでください。抜けなくなったり、身体を傷つけることがあります。●このディスクを絶対に投げないでください。人体その他を傷つける恐れがあります。●ケースやディスクの上に、重いものを置いたり落としたりすると、破損しけがをすることがありますので絶対におやめください。●お客様の誤ったお取り扱いにより生じたキズ、破損などに関しては補償いたしかねますので、あらかじめご了承ください。●"PlayStation"、"PS one"および"PlayStation 2"本体を液晶方式以外のプロジェクションテレビ（スクリーン投影方式テレビ）にはつながないでください。残像現象（画面の焼き付き）が起こることがあります。特に静止画を表示しているときは、残像現象が起こりやすくなります。●ソフトウェアによっては"メモリーカード"や"PocketStation"が必要な場合があります。詳細はソフトウェアの「解説書」などで確認してください。

健康上のご注意 ●プレイする時は健康のため、1時間ごとに約15分の休憩を取ってください。●アナログコントローラ（DUALSHOCK）などの振動機能を使って長い時間連続してプレイをしないでください。目安として約30分ごとに休憩をとってください。●疲れている時や睡眠不足の時はプレイを避けてください。●プレイする時は部屋を明るくし、なるべくテレビ画面から離れてください。●ごくまれに、強い光の刺激を受けたり、点滅を繰り返すテレビ画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある方は、事前に必ず医師と相談してください。プレイ中の画面を見ていてこのような症状や、めまい・吐き気・疲労感・乗り物酔いに似た症状などを感じた場合は、すぐにプレイを中止し、医師の診察を受けてください。●お使いになるハードウェアの「取扱説明書」「健康のためのご注意」をよく読んで正しくご使用ください。



SLPM 86899